

東お多福山ススキ草原復元」活動報告

秦 康 夫

2015 年 12 月 12 日（土）9:00～15:30

- 作業項目： 1）全面刈り取り
2）ススキの収穫
3）登山道水切り溝整備

台風被害で通行止めになっていた林道が修復され、土樋割峠まで車が入るようになったので、アプローチが大分楽になった。今日は全面刈り取りの第2回。9団体他の計55名が三つの班に分かれ、1班2班は前回に引き続きネザサ類の全面刈り取り作業、3班はススキの収穫作業を行った。刈り払い機も7台がフル稼働で、刈り取ったササの処理が大変だったが、昼休みも30分短縮して頑張ったお陰で第2、第3、第6調査区（コドラート）一帯は見違える程すっきりした形になった。

土曜日なので、通りかかるハイカーも多い。作業状況を見て熱心に問いかけてくる人もあり、休日の作業は広報面で効果的なことが分かった。作業場所への往き帰り、登山道の水切り溝整備も行ったが、まだ未整備箇所もあり、次回以降は登山道の整備にも力を入れる必要がある。

泡状のカマキリの卵（卵鞘～らんしょう）が見つかったり、またテントウムシもいたそうで、生物多様性豊かな草原復活の兆しが、徐々に見え始めてきたのは有難いことである。

【参加者】

斧田一陽、秦康夫、田島聖子、森脇肇子（会員外）計4名



① 刈り払い機によるネザサ刈り



② 手鎌で選別刈り取り



③ 刈り取ったササはシートで運ぶ



④ ススキの収穫



⑤ 作業後 すっきりした一帯



⑥ カマキリの卵



⑦ ツリガネニンジン（？）